



今日の「遊び+α」風景

本だよりでお馴染みのコーナー「今日の授業風景」では、いつも子どもたちの学ぶ姿をお届けしています。ですが、学校生活は授業だけではなく。朝の登校から午後の下校まで、子どもたちの日常は授業以外の時間にも楽しい瞬間がたくさん詰まっています。

そこで今回は、10月2日（金）の中休みと昼休みの様子を特集します。授業中とはまた少し違う、子どもたちのリラックスした表情や、元気いっぱいに過ごす素顔をご覧ください。



【写真左「バスケットボール」】今、校内のあちこちでバスケットボールが大人気です。グラウンドの2か所のコートだけでなく、体育館からも元気な声が聞こえてきます。ボールさえあれば2人からでも気軽に始められるのが、人気の秘密でしょうか。最近では低学年の間でもブームになっています。

【写真右「鬼ごっこ」】正確には2枚の内左側の方は「かくれんぼ」です。どちらも先生を巻き込み、よく走り回ります。とにかく運動量が多いので、回復力が遅い教員には大変大きな試練です。でもそのお陰もあり、健康でいられるのですが。



【写真左「丘滑り」】マットも新しくなり、低学年、とりわけ1年生に人気の遊びです。坂を登る際には脚力が鍛えられますし、「キャーッ!」と大きな声を出して滑る時には、おおいにストレス発散になっています。シューズを脱いでの登り下りですので、靴下が…

【写真右「鉄棒・ブランコ」】鉄棒は女子に人気です。毎日練習しているので、かなりの技もできるようになっています。ブランコは2つしかない「特等席」です。次の人が待っているの、「もう少し乗っていたい思い」との心のせめぎ合いがあります。



【写真左「サッカー・?」】グラウンド中央で毎日繰り返されているのがサッカーです。曜日によってコートを使える学年が決まっているので、選手は毎日違います。2枚の右側は「写して～」と、積極的にアピールのあった写真です。とっても素敵な笑顔ですね。

子どもたちは休み時間になると、本当に元気いっぱいに動き回ります。次ページの「校長のつぶやき」でも詳しく触れますが、この「主体的に楽しむ時間」こそが、子どもたちの体力を無理なく高める鍵となっています。「知・徳・体」の調和が取れた人間形成において、休み時間は実に大きな役割を担っています。

校長のつぶやき：大切にしたい「環境」

幼児教育や保育の専門用語に「環境構成」という言葉があります。「子どもが周囲の環境へ主体的に関わることで自ら学んでいく」ことを目指す考え方で、ここでの先生の役割は「教え込むこと」ではなく、子どもが動きたくなる「環境を整えること」にあります。



これに対して小中学校では、学習指導要領によって明確なゴール（身に付けるべき知識・技能など）が示されているため、この「環境構成」は、子どもたちがより効果的・主体的に学ぶための「手段」として位置づけられます。

ここまでは、意図して計画された「授業」における話ですが、前ページで紹介した「休み時間」はまた別の話になります。先生が加わって一緒に遊ぶとはいえ、時間の過ごし方はあくまで子どもたちの「選択（主体性）」に任されているからです。

自由に使えるグラウンドがあり、すぐに使えるボールや竹馬、鉄棒などがあれば、多くの子どもたちは自ら走り回り、自然と体力や、自らをコントロールする「自己調整力」を身に付けていきます。またその一方で、読書が好きな子どもは、たくさんの本に出合える図書室で、毎日熱心に知識を蓄えています。そう考えると、小中学生であっても大人であっても、身を置く「環境」がいかに大切であるかが分かります。

還暦間近の私自身、同級生に会って「若いね」と言われることがあります。しかし内心では、同年代や先輩の先生の方が私よりもはるかに若々しいことを自覚できています。これはやはり「教師」という職業柄、毎日エネルギーあふれる若い子どもたちに囲まれているという「環境」が、私たち教員を若々しく保ってくれているのだと身勝手な解釈をしています。

そう考えると、幼児教育のいう「環境構成（どのような環境に身を置くか）」という視点は、私たち大人にとっても非常に重要なテーマではないでしょうか。ご家庭や地域、そして職場など、皆さんもぜひ一度「環境」という視点で周りを見渡してみてください。子どもたちにとっても、大人にとっても、より無理なく心地よく成長できるヒントが見つかるかもしれません。

心を育てる「ピカキラタイム」

JSBでは毎日、お昼休みと5時間目の間に清掃時間「ピカキラタイム」を設けています。「日本の文化」とも言えるこの習慣は、韓国や台湾などでも行われているようです。一方、当地ヨーロッパでは「掃除は専門職の仕事であり、生徒は学習に集中すべきだ」という考え方が根強く、日本的な「自分たちの環境を自分たちで整える」という考え方は定着しにくいようです。

今日もJSBでは、小学部の児童も中学部の生徒も共に、自分たちの学習環境を整えています。日頃から使わせてもらっている場所や物への感謝の気持ちはもちろん、清掃活動を通して、自分自身の「心」も一緒に磨き、整えられるような充実した時間になることを願っています。

